

のびのび通信 第69号

2012年1月

予定に変更はつきもの！？



先月の活動のとき、「次は、和菓子をつくります」と予告していましたが、ちょっとしたハプニングで、来月（2月）に延期になってしまいました。急きょ、内容を変更したのですが、人生には、こんな変更はつきものですね。そんな変更に対応していくことが社会性として求められることのひとつです。そして、今回、みんなこの変更を理解してくれました。

甘い香りのチョコレートハウス



実は、2月のバレンタインデーのタイミングに企画していた活動ですが、1月に繰り上げて実施です。いつもどおりスケジュールを確認して……。次は、手順書で作業工程の確認ですが、今回は、ビデオ再生で確認という試みです。いつも以上に、真剣に見入ってくれる姿に感動でした。



作業は、コツをつかむと簡単ですが、それまでが、大変。でも、板チョコを壁にし、屋根にし、そして煙突と順を追ってお家が完成する過程が楽しいですね。どんな形になると、次の過程になるのか、一目瞭然なので、上手くいったようです。

もちろん、デコレーションもお菓子！

いつもは食べるお菓子で、個性的なお家が次々に完成です。とっても、おいしそう？



お菓子をいただきました！

たまたま、活動と被った感じですが、チョコレートをはじめ、ジュースやクッキーなどたくさんのお菓子をいただきました。明治ホールディングス株式会社の株主の皆様から、段ボール箱8箱のプレゼントです。

こういうチャンスを見逃さず、「何かいただいたときは、お礼を言います」というスキルを学ぶことに。いただいたお菓子を目の前にし、ひとりひとりがお礼のお手紙を書きました。3歳児は絵に、小学生は文章に、それぞれ感謝の気持ちを形にしました。こういうことが苦手な子が多いのですが、この積み重ねがスキルアップにつながります。

なかなかスタイリッシュな電車でしょ？JR九州の“白いかもめ”です。

1月22日に、発達障害児支援サークル「のびのび」広報担当が、長崎県諫早市のNPO法人諫早なかよし村21さんのお招きで、講演してきました。70人の方にお集まりいただき、「のびのび」の活動紹介も織り込みながら、二次障害について考える内容で話してきました。

こんなつながりで、支援の輪が広がっていくことを実感しました。



発行：発達障害児支援サークル「のびのび」